

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	30(14)	入居後、共同生活を送るにあたって一部困難な面が出てきているご利用者様がいらっしゃる。	ご利用者様同士がお互いに協力して共同生活を営めるようにする。	介護職員のケアに関しても落ち着いて生活して頂けるようにケア会議を行う。共同生活を送る事が困難なご利用者様には医療機関とも連携し、共同生活を行えるよう治療して頂く。	6ヶ月
2	1(1)	高齢者の自然な笑顔とは？事業所のモットーである笑顔はどんな時に見られるのかを追求していく。	ご利用者様、ご家族様、職員の笑顔を増やす。	ケア会議で利用者様の笑顔がどんな時にみられているか分析し、より笑顔になって頂けるようにするには何をすればよいか話し合い、又個別支援を行い一人一人に寄り添ったケアを実践していく。実践した内容を運営推進会議の場等でご家族様へ報告する。	6ヶ月
3	20(11)	2つのユニットの雰囲気温度差がある。	ご利用者様同士の馴染みの関係、雰囲気を作る。	ケア会議で原因を分析し、原因に対して出来る事を行い雰囲気改善していく。個別ケアを重視し、その方に合ったケアを実践していく。	6ヶ月
4	10(9)	家族会の内容や進行方法が確立できていない。	家族会の内容、進行方法を確立し年に2回家族会を行えるようにする。	運営推進会議の場で家族会の進行方法等を話し合う。	6ヶ月
5	8(7)	権利擁護に関する制度の理解と活用法が利用者関係者に浸透していない。	ご家族様、職員を対象に権利擁護に関する理解を深める。	ご家族様、職員に対し権利擁護の研修を行う。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。